学校番号	１０４

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ（理数科）	3	1	ELEMENT English Communication I ELEMENT English Communication I WORKBOOK STANDARD ELEMENT English Communication I サブノート 改訂版　Reading　Gym　標準編 問題パターン別　解法トレーニング Listening Scope　演習ブック　BASIC 改訂版　LEAP　必携　英単語 駿台　システム英単語　五訂版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの理数科での授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・教科書における背景やテーマを理解し、それをもとにした授業中の言語活動を行います。
積極的に参加し、英語でのコミュニケーション力を高めていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を 1 文聞き取った後、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の周りのことについて聞き取ることができる。	・待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、簡単な語句や文を用いて、自分のことや他人のことを紹介することができる。 ・前もって準備した上で、身近なトピックや出来事について自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
	Lesson1 A Message from Taylor Swift Lesson 2 Christian the Lion	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: 英文の音声を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: to-不定詞，動名詞、現在完了形，分詞の形容詞用法を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して教科書の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Lesson 3 Bye Bye Plastics Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく英文を聞き取ることができる。 b: 各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって，英文の内容を正しく理解できる。 b: 過去完了形，関係代名詞を用いた文を理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトをとるなど、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 関係代名詞，使役動詞、知覚動詞の使い方を理解する。 b: 日英の語順の違いやディスコースマーカーを理解し，その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出

	期末考査			
	Lesson 5 Fashion Waste Lesson 6 Bopsy-Aboy and his wish	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく英文を聞き取ることができる。 b: 各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって，英文の内容を正しく理解できる。 B 比較表現を用いた文を理解できる。 c: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理・理解した内容を活用し、教科書の問題に答えることができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 比較、関係代名詞 what、同格の that を用いた文を理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して教科書の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Lesson 7 A “Creamy” Name Lesson 8 Saving Khmer Silk	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく英文を聞き取ることができる。 b: 海洋プラスチック汚染についての各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって，英文の内容を正しく理解できる。 b: seem to-不定詞，関係副詞を用いた文を理解できる。 c: 日英の語順の違いや英語の意味のまとまり，ディスコースマーカー，パラグラフの主題文と支持文を理解し，その知識を内容把握に役立てることができる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど，円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: 本文から整理・理解した内容を活用して教科書の問題に答えることができる。 c: Retell において，題材内容に肉付けしながら，自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 分詞構文を用いた文を理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して教科書の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
	Lesson 9 Serendipity Lesson10 Playing the Enemy	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく英文を聞き取ることができる。 b: Technology や Human rights ついての各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 形式主語の it や仮定法の用法を用いた文を理解できる。 b: Technology や Human rights ついての各パートの英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: Retell において，題材内容に肉付けしながら，自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど，円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況

		書くこと	a: 形式主語の it や仮定法の用法を用いた文を理解できる。 b: 形式主語の it や仮定法の用法を用いた文を書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度